

農業後継者育成基金事業

平成24年度農業青年グループ等育成事業（地域青年農業者等グループ助成）

・事業主体 大浦柑橘友の会

1 目的

大浦町の果樹生産青年で組織しており、高齢化・果樹の消費量の低下などのために廃園化がすすむポンカン園の有効活用に取り組んでいる。

今年度は、昨年度に引き続きポンカン果汁を使ったドレッシングの製造に取り組んだ。

2 実施状況

（1）コスト削減の実施

加工用ポンカンは生食用と違い、見た目の重要性が大きいので、コスト削減のため、管理作業（園地の下草払いなど）や農薬を使わない栽培に取り組み、また、果実の搾汁作業・製品製造にも参加した。

結果、作業の省力化が図られ、また製品のPR材料にもなった。



（2）アンケート調査の実施

昨年度に作成した製品をサンプル品とし、アンケートと共に地域の方々や関係各所に配布し、その反応を踏まえ今年度の製品製作に取り組んだ。

結果、昨年度の製品よりもより良い味に仕上がりに、地元を中心に販売することとなった。



（3）販売促進活動の実施

チラシの製作、ラジオPRなどを行った。また、今後の展開を見据え、東京にも出品（かごしま遊楽館さつまいもの館）、マネキンを使ったイベントを行い、その声を集計した。

結果、地元では少なからず我々の団体・商品を覚えていただけるようになった。



3 今後の課題、取り組み

加工原料としての最適な果実の収穫適期をより把握する必要がある。

昨年度の課題であった果汁の保管（急速冷凍）は、解決に至っておらず、また、今後の生産増を考えると、保管場所にも課題が残る。

賞味期限をしっかりと把握するため、品質テストを専門機関に依頼する。

販路を拡大し、ドレッシングからしっかりと利益を出し、また、地域の企業と連携した新たな商品開発に取り組む。

有機JAS認証を視野に入れた果樹栽培に取り組む。